■内藤湖南(虎次郎)　　東洋史学者。ジャーナリストだったが，火災で蔵書失い，中国史研究に転換，大学を出ずに帝大教授。
ないとうこなん
薩長同盟・・1866＝　　陸奥国鹿角郡毛馬内村(鹿角市)で，代々南部藩武臣で学を好む家に生まれる。

明治維新・・1868＝ 2歳：

初の日刊新聞1870＝ 4歳：母を失う。

明治6年政変 1873＝ 7歳：

初の民間工場1875＝ 9歳：

明治14年政変1881＝15歳：

岩倉具視没・1883＝17歳：県立秋田師範学校に入学。
秩父事件・・1884＝18歳：米人に英語を学ぶ。
内閣発足・・1885＝19歳：県立秋田師範学校を卒業，小学校教師となる。

国民之友始・1887＝21歳：辞職して上京し，大内青巒主宰の仏教雑誌{明教新誌}の編集者となる。米人につき英語を学ぶ。
初の対等条約1888＝22歳：雑誌{万報一覧}を編集。
帝国憲法発布1889＝23歳：機関誌{大同新報}を編集。
帝国議会始・1890＝24歳：_三宅雪嶺らの政教社の{日本人}の編集者となる。

郡司千島探検1893＝27歳：政教社を退き，大阪朝日新聞社客員高橋健三(国粋保存主義老の領袖)の論説執筆を助ける。
日清戦争始・1894＝28歳：{大阪朝日新聞}に入社。

白馬会・・・1896＝30歳：{大阪朝日新聞}を退社。この年，結婚。
八幡製鉄始・1897＝31歳：_台北に創立された{台湾日報}の主筆に就任。文名一時にあがる。
子規句歌革新1898＝32歳：_退職し，{万朝報}の論説記者となる。幸徳秋水・堺利明・内村鑑三らと同僚。
Bushidou・・1899＝33歳：_火災に遭って蔵書を失うと，一転して唐本の収集を志し，初めて中国本土に渡る。
ﾋﾟｱﾉ国産化・1900＝34歳：_{万朝報}を退社して，{大阪朝日新聞}に再び入社し，論説を担当。

教科書疑獄・1902＝36歳：*{大阪朝日新聞社}より派遣され，朝鮮・中国各地を遊歴。早くも，中国の歴史に関する研究が進む。

日露戦争終・1905＝39歳：_外務省(当時の外相小村寿太郎)より満洲軍占領地行政調査嘱託を受け，視察，諸種の献策をなす。
満鉄発足・・1906＝40歳：_再び，嘱託を受け，大阪朝日新聞社を退職，朝鮮および中国東北を視察。
_この頃まではもっぱらジャーナリズム界で活躍したが，その間も中国の学術全般についての研究を深め，日本の中国学研究が旧来のいわゆる漢学でなく，清朝風な実証学でなければならぬことを確信し提唱。
韓国反日暴動1907＝41歳：*京都帝国大学史学科開設とともに講師となり東洋史学講座を担当。"孔子様のような人でも学歴が無い者は教授にはできない"と文部省の係官が頑張ったという逸話がある。
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝42歳：父死去。朝鮮および中国東北を視察。
伊藤博文暗殺1909＝43歳：*京大教授となる。
大逆事件判決1911＝45歳：
明治天皇没・1912＝46歳：
_以後，度々中国に出掛け，中国の歴史に関する論文を次々と発表。
第一次大戦始1914＝48歳：「支那論」。
_哲学文学の狩野直喜教授とともに京都の"支那学"と呼ばれる，道学臭を脱却した清新な学風を創始し，多くの人材を輩出せしめた。

大暴落・・・1920＝54歳：
原敬首相暗殺1921＝55歳：

護憲三派圧勝1924＝58歳：「日本文化史研究」。

円本時代始・1926＝60歳：*定年退官。
以後帝国学士院会員。

世界恐慌・・1929＝63歳：
その後も中国との関係を深める。
満州事変・・1931＝65歳：

帝人疑獄事件1934＝68歳：_病没した。

中公シリーズ「日本の名著」，刀水書房「20世紀の歴史家たち2」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，